

第三條 丙號戰備ノ末項ニ

ニ丙號戰備下令間敬言戒警報解除セシ

タル時ハ別命ナク丁號戰備ニ移ルモノトス

下達法 要旨口達後印刷交付

配布区分
32A
15A
23SA
100FeAs
1Ms
5MM
6MM
3MOLM
66Ps

申付ナク付

軍事機密
五改司作命甲第六號

軍砲兵隊命令

十月十九日〇八〇〇
與儀

一軍砲兵隊戰鬥準備ニ関スル計畫ニ左記

事項ヲ追加ス

第三防衛 其一戰備間ノ態勢ハ第三條

乙號戰備ノ末項ニ

亦乙號戰備下令間空襲警戒警報解除セラルタル時

ハ別命ナク丙号戰備ニ移ルモノトス

第三條 丙號戰備ノ末項ニ

丙號戰備下令間 敬言戒警報解除セラル

タル時ハ別命ナク 丁號戰備ニ移ルモノトス

下達法 要旨口達後印刷交付

配布区分 32A
15A
235A
100FeAs
1Ms
5MM
6MM
340LM
66Ps

原書地密

寫

球作命丁第五三號

第三十二軍命令

十月二十一日 那 霸

- 一、軍ハ現下人の戦力消耗ノ主因タル急性傳染病ノ徹底的防遏ヲ企圖ス
- 二、各兵團(部隊)ハ現狀況ニ即應シ傳染源ノ芟除及傳染経路ノ遮断ニ遺憾ナキ施策ヲ實施スルト共ニ特ニ丙號戰備以上ノ狀況下ニ於ケル防疫的給水ノ根本對策ヲ樹立スベシ
- 三、第二十七野戰防疫給水部長ハ前項計畫並ニ實施ニ關シ第六十二師團及獨立混成第四十四旅團ニ協カスベシ
- 四、軍經理部長ハ前諸項ノ衛生施策實施ニ協カスベシ

6LM

五、實施要領ノ細部ニ關シテハ軍軍醫部長ヲシテ指示セシム

軍司令官

牛島 滿

下達法 印刷交付

一、重 點 球作命丁第一五三號ニ基ク軍軍醫部長指示

消化器系統傳染病ノ根絶ニ指向シ苛烈ナル戰鬪訓練作業間將兵カ生水ヲ飲用スルコトヲ基本條件トシ醫學的方策ヲ樹立シ常ニ機先ヲ制シテ慘禍ノ防止ニ努ムルヲ要ス

二、防疫的給水對策
一、軍ハ高度戰備下ニ於テハ雜用飲用ニ生水ヲ使用セシム但シ狀況之ヲ許ス限リ煮沸使用スルモノトス

二、各兵團(部隊)ハ急速ニ地區内就中防衛陣地附近ノ水源調査並ニ檢水ヲ完了シ慮過乃至化學的消毒ニ依ル水源使用ノ方途ヲ講ズルモ

ノトス

3. 濾過ハ衛生濾水機ヲ用フルヲ本旨トシ消毒
ハフクロール石灰及淨水劑ニ依ルモノトシ必
要ニ應ジ濾過消毒ヲ併用スルモノトス
フクロール石灰ハ當初消毒包内容ヲ充用シ爾
餘ハ軍ニ於テ考慮ス

4. 各兵團(部隊)ハ前諸項検査成績ニ基キ防衛陣
地ニ於ケル貯水給水搬水ノ位置方法資材等
ヲ決定シ事前ニ周到ナル準備ヲ完成シ高度
戰備下ニ於ケル防疫的給水ニ遺憾ナカラシ
ムモノトス

5. 檢水ハ精密檢水トシ毒物及細菌検査ヲ主ト
シ遠藤赤變菌數大腸菌密度ノ有無多寡ニ基

キ處置ノ要否ヲ定メ時刻期日天候等要約ニ
從ヒ數回反覆スルモノトシ採水後検査迄
時間ハ二時間以内トス
理化學的検査ハ軍ニ處置上ノ參考トナスベ
シ

6. 水質ノ判定ハ珊瑚礁ニシテ離島タル管下諸
島ノ本質ヲ理解ノ上決定シ必ズ處置ヲ附シ
將兵ノ生水使用飲用ニ根基ヲ置キ左記標示
ヲ嚴ニ勵行スルモノトス
飲用適濾過飲用適消毒飲用適消毒雜用適使
用不適等

三、第二十七野戰防疫給水部長ハ病点檢索檢水ノ
實施給水計畫ニ就キ第六十二師團獨立混成第

四十四旅團ニ協力スルモノトシ其ノ時期方法等ニ關シテハ相互ニ協定スルモノトス又濾水機修理能力ノ培養ニ努メ藥物檢定ノ準備ヲトスモノトス又修理材料ノ補給ニ關シテハ自下申請中ナリ

四、一般防疫處置

1. 避難民ノ現狀ニ鑑ミ病原搬入防止ニ留意シ必要ニ應ジ關係地方側ノ病原檢索豫防接種ヲモ實施スルモノトス
一 一般豫防接種ノ實施ニ關シテハ近ク別ニ指示ス

2. 水系遮断ノ他混蟲撲滅ヲ更ニ徹底セシメ蠅鼠族ニ依ル媒介ヲ遮断スルヲ要ス之カ爲防

衛陣地内厨炊事場ノ構築管理ニ際シテハ本要件ヲ重視シ敵打捕殺或ハ現地物資ヲ以テスル滅蟲法ト相俟テ根絶ヲ期スベシ消毒藥ヲ用ラル殺蟲法ノ如キハ效ナシ
3. 患者早期隔離ノ觀念ヲ昂揚セシムルノ要アリ
4. 爾餘ハ各部隊傳染病豫防規定ニ據ルモノトス

五、地方側ノ處理ニ關シテハ軍軍醫部ヲ經由照會局ニ連繫スルモノトス
六、檢索消毒材料ハ計畫ヲ附シ請求スルモノトシ十一月末迄ニ計畫實施成果ノ概要ヲ軍軍醫部長ニ通報スルモノトス

軍醫部長

篠田重惠

軍事機密

五砲司作命甲第七號

軍砲兵隊命令

十月二十一日

一 軍砲兵隊八軍砲兵統^與運用^儀ニ關

スル戰鬪準備ヲ強^セシトス

二 五砲司作命甲第二號別紙「陣地構

築要領附表第二ヲ別紙第一ノ如

ク増補ス

三 輕迫撃第三乃至第十中隊八五砲

司作命甲第二號別紙附表ニ拘^ラ

別紙輕迫撃部隊陣地構築要領
 時表 = 基キ陣地ヲ構築之戰闘ヲ
 準備スベシ

下達迄
 配布之令

口達書說後印刷交付

32A 1SA
 9D 22SA
 62D 100 Fells
 24D 1M
 5MM
 6MM
 (4M 7M)
 3-10LM
 66FS
 12A
 9BA 部内

軍事機密

五砲司作命甲第七號別紙第一

- 一 那霸ヨリ糸満附近ニ重要ヲ指向スル場合(作二)是ニ係ル如ク区分
 第二案第一號 那霸ヨリ與根間ニ至ルヲ指向スル場合
 第二號 具志間方高地ヨリ糸満ニ至ルヲ指向スル場合
- 二 19A(-I) 第一號 先原崎 | 與根間 小線 渡橋名各東端ヲ連スル
 線以西ヲ射撃ニ付ル如ク準備ス
 第二號 從前任務ニ合シ
 先原崎 | 與根間 小線 渡橋名各東端ヲ連
 スル線以西ヲ射撃ニ付ル如ク準備ス
- 三 23SA 第一號 從前任務ニ合シ
 先原崎 | 與根間 小線 渡橋名各東端ヲ連
 スル線以西ヲ射撃ニ付ル如ク準備ス
 第二號 從前任務ニ合シ
- 四 100 Fells 第一號 先原崎 | 與根間 小線 渡橋名各東端ヲ連
 スル線以西ヲ射撃ニ付ル如ク準備ス
 第二號 具志間 | 糸満間 所波根 國吉各東端ノ線以

軍事機密

五砲司作命甲第七號別紙第一

- 一 那霸ヲ系滿附近ニ重兵ヲ指向スル場合(第二案)是如ク處分ス
 - 第一案 第一號 那霸ヲ與根間ニ重兵ヲ指向スル場合
 - 第二號 具志南方高地ヨリ系滿ニ重兵ヲ指向スル場合
- 二 19A(I) 第一號 先原崎—與根間小祿、渡橋名各東端ヲ連スル線以西ヲ射撃シ得ル如ク準備ス
- 第二號 從前ノ任務ニ合シ
- 三 235A 第一號 先原崎—與根間小祿、渡橋名各東端ヲ連スル線以西ヲ射撃シ得ル如ク準備ス
- 第二號 從前ノ任務ニ合シ
- 四 100FAs 第一號 先原崎—與根間小祿、渡橋名各東端ヲ連スル線以西ヲ射撃シ得ル如ク準備ス
- 第二號 具志—系滿間、所波根、國吉各東端ノ線以

- 五 117S 第一號 赤峰、宇崇原附近ニ陣地白領
- 第二號 渡橋名附近ニ重兵ヲ系滿附近ニ陣地白領
- 六 5MM 第一號 先原崎—具志間、金城、宇崇原以西ニ射撃シ得ル如ク準備ス(念)小祿間ニ陣地白領觀測所ハ豊見城西方
- 第二號 從前ノ任務ニ合シ
- 七 6MM 第一號 當間—與根間小祿、渡橋名各東端ノ線以西ヲ射撃シ得ル如ク高安西方地区觀測所ハ放列西方
- 第二號 從前ノ任務ニ合シ
- 八 42A 第一號 從前ノ任務ニ合シ
- 九 9BA 第一號 從前ノ任務ニ合シ
- 第二號 從前ノ任務ニ合シ
- 第三號 從前ノ任務ニ合シ
- 第四號 從前ノ任務ニ合シ
- 第五號 從前ノ任務ニ合シ
- 第六號 從前ノ任務ニ合シ
- 第七號 從前ノ任務ニ合シ
- 第八號 從前ノ任務ニ合シ
- 第九號 從前ノ任務ニ合シ
- 第十號 從前ノ任務ニ合シ

十 第三項乃至第七項ノ任務增加ニ伴フ陣地構築及陣地構築物修兵
 十二月中旬迄ニ完了スルモノトス

五砲司作命甲第七路別紙第二

輕迫撃 部隊陣地構築要領附表

一、大山以南那霸朝到之間=重兵ヲ指向スル場合

部隊射撃準備區域	放列陣地	主ナル觀測所	摘
宮城、小灣	澤比、内間真	放列陣地附近	第一次
泊、間	予備陣地		第三次工事完成後 後=工事着手
	宇波茶西方		
	澤比北方附近		
IV LM	嘉敷、當山附近	放列陣地附近	第二次
大山城間	予備陣地		第三次工事完成後 =工事=着手ス
	末吉真嘉生南方		
	首里西方地區		

二、那霸ヨリ糸満附近=重兵ヲ指向スル場合

志茂田以北=指向スル場合(第一路)

部隊射撃準備區域	放列陣地	主ナル觀測所	摘
先原崎、高宮城、間	小綠、金城、間	放列陣地附近	第二次
大嶺、志茂田、間	宇波原、地霸		
	東北方地區		
IV LM	全右		第二次

志茂田以南=指向スル場合(第二路)

部隊射撃準備區域	放列陣地	主ナル觀測所	摘
志茂田、潮平、間	渡嘉敷、保原茂	放列陣地附近	第一次
翁長、糸満、間	所波根附近		
	賀敷及座波西方		
	地區=一大隊分		
	築座西方地區=		
	一大隊分		
IV LM	全右		第一次

三、沖繩北飛行場西方及北方=重兵ヲ指向スル場合

西海岸=指向スル場合(第一路)

部隊射撃準備區域	放列陣地	主ナル觀測所	摘
波慶次、間	座喜味北方高		
IV LM			

IVLM	大嶺、志茂田、間	宇原原、地霸、東北方地区	全右	第二次
------	----------	--------------	----	-----

志茂田以南=指向スル場合(第一路)

部隊	射撃準備区域	放列陣地	主ナル観測所	摘要
IVLM	翁長、糸蒔、間	賀茂及座波西方地区=一大隊分、座波西方地区=一大隊分	全右	第一次
III LM	志茂田、潮平、間	宇原原、保原或河波根附近	放列陣地附近	第一次

三沖繩北飛行場西方及北方=重兵ヲ指向スル場合

西海岸=指向スル場合(第一路)

部隊	射撃準備区域	放列陣地	主ナル観測所	摘要
IVLM	楚切北方一帯、渡具知、間	比謝大橋、東西地区	全右	第三次
III LM	波慶次ヨリ楚切北方一帯、間	座喜味北方高地一帯地区	放列陣地附近	第三次

北海岸=指向スル場合(第二路)

部隊	射撃準備区域	放列陣地	主ナル観測所	摘要
IVLM	眞深田、宇嘉、間	親志、東北方附近	全右	第三次
III LM	英久田、長浜、渡慶次、間	座喜味北側一帯地区	放列陣地附近	第三次

備考
 大概十二月十日 完成十二月末日トス
 陣地ハ将来ノ配属及兵力温存ノ見地ヨリ努メテ歩兵主陣地内ニ選定スルモノトス

島嶼命令書大號

第三一野戰貨物廠命令

十月二十五日 津嘉山

昭和十八年八月三十一日

- 一 第四被服移動修理班ハ明後二十七日三嘉丸ニ乗船宮古島ニ到リ第二十八師團長ノ指揮下ニ入ルヘシ
- 二 第一第二被服移動修理班ハ部隊本部ニ位置シ左記區分ニ依リ任務ヲ遂行スヘシ

左記

摘

要

班名	修理部隊	摘
第一班	軍直部隊	軍經理部ヨリ修理機構ノ引継
第二班	第九師團並ニ第六十二師團並ニ	指揮下部隊ヲ含ム

- 三 第三被服移動修理班ハ嘉手納附近ニ位置シ第二十四師團並ニ獨立混成第四十四旅團ノ被服ノ補修ニ任スヘシ
- 四 第五混成第六十四旅團ニ對スル補修担任移動修理班ニ對ス

別命
 五 移動修理班ハ各兵團協議、上兵團利用セル地方修理機構ヲ継承シ固定及移動修理ヲ実施スヘシ
 六 第一、三被服移動修理班、重修理車、運用ニ付テハ別命ス
 七 第一、三被服移動修理班ハ兵團被服補修ニツキ兵團經理部長ト密接ニ連絡シ速ニ補修計畫ヲ立案シ提出スヘシ
 八 各班ノ業務実施並ニ内務ニ付テハ業務実施要領案及内務規定案ニ依ルハシ

第三一野戰貨物廠長 伊藤 馨

下達法
 口達使印付既布

配布先
 軍務課部、經理部、軍醫部、獸醫部各一

番
 二五、二六、六十六、五五、五九、五九、六十一、六十四、各二

追命第一號

臨時輕迫第三大隊命令

十月三十日

一 左記諸部隊ヲ余ノ指揮下ニ入ラシメラル

左記

獨立輕迫擊砲

第三中隊

第四中隊

第五中隊

第六中隊

二 臨時輕迫擊第三大隊ハ重砲兵隊戰斗準備ニ関スル計畫案並ニ重砲兵隊戰斗關スル計畫

ニ依リ速カニ戰斗ヲ準備セントス

三 各中隊ハ別ニ示ス臨時輕迫擊砲第三大隊陣地構築一般計畫ニ依リ陣地ヲ構築シ戰斗ヲ準備スル

備スル

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

四各隊ノ作業實施ニ當リ、各陣地毎ニ陣地構築
計畫(三部)ヲ提出シ、該陣地十日毎ニ陣地構
築作業進捗情況ヲ報告スヤシ

五大隊本部觀測所工事實施ノタメ、各隊ノ
左記兵員器材ヲ差出シ、本部鈴木中尉、區
署ヲ受ケハシ

左記

兵員 各隊兵五(十五日毎ニ各陣地別ニ順序ニ下ニ管一ヲ
含ミ差出スモト)

器材 各隊所ニ 十字大一

集會場所 本部觀測所ヲ定位置

時刻 〇八〇〇

給養ハ自隊ニ於テ担任スヤシ

臨時輕迫撃砲大隊

大隊長 松田大尉

三 作命甲第一號別紙

輕迫撃第三大隊陣地構築一般計畫

一 方針

大隊ハ軍砲兵隊統一運用ノタメ、陣地構築ヲ強
行シ連カニ戰鬥準備ヲ完成ス

二 一般要領

一 部隊ハ先ヅ不時ノ敵砲爆撃ニ對シ大砲彈
藥主要器材ヲ掩護ヲナシ得ル態勢ニテ

シノ作業ヲ實施ス

二 各隊ノ工事區分ハ左記ノ如ク實施ス

左記

第一陣地 澤山 自十月三十日

第二陣地 保榮 自十一月二十日

第三陣地 小保 自十一月三十日

至十二月十日

右ノ概成期間ハ爾後十二月末日迄ノ各隊
 陣地補修完成ノ時期トス
 依テ各隊ハ十月三日ヨリ十月十日迄全兵力ヲ
 以テ實施施ニ爾後適宜兵力ヲ各陣地ニ配
 當シ十二月末日迄ニ完成スル
 三作業進度表附表第一如シ

14	16	
20		
21	22	
26	27	
28		

陸軍

陣地	期間	十月	十一月	十二月
第一陣地	↑概成	下	上	中
第二陣地	↓概成	中	下	上
第三陣地	↑概成	上	中	下
小隊	↓概成	中	下	上

自三作命第七號

臨時輕迫擊第七大隊命令

十月三十一日一八〇〇

一五砲可作命第七號一依大隊陣地構築第一級計畫作業進度ヲ左ノ通リ變更ス

第一陣地 澤岨 自十月三十一日

第二陣地 保築茨 自十一月十一日

第三陣地 小 祿 自十一月三十一日

第四陣地 座喜味 自十二月十日

右ノ概成ノ期間トス

各陣地完成ノ期ハ十二月末日トス

大隊長 松田 大尉

下達法 乙

言

極秘

獨二六六作命第八號
獨立兵第六六六大隊命令
下達法 各隊長ヲ集メ要旨傳達後印刷交付
配布先 SAB 23 SA LM (各中隊) 各隊

十月三十日一六
波

行

獨	立	兵	第	六	六	六	大	隊

獨

七種秘

獨六六作命書六九

獨立兵第六六大隊命令

十月三十日一六〇〇
波

一、大隊司令部命令中隊司令部ニ基キ一部ヲ以テ新ニ野戰重砲兵隊ヲ編成シ及第ニ乃至第十輕迫撃砲中隊陣地構築作業ニ協力セシム

二、第一中隊長ハ野戰重砲兵第一聯隊及獨立重砲兵第百大隊ヨリ現ニ協力シタル各小隊ノ主力ヲ抽出シ約一小隊ヲ以テ平良武富附近ニ於ケル野戰重砲兵第二十三聯隊ノ陣地構築ニ協力セシムト共ニ所要ノ幹部以下約一ヶ分隊ヲ以テ輕迫撃砲第七乃至第十中隊ノ陣地構築作業ノ技術的援助ニ任ジ又ニ一ヶ分隊ヲ予ニ直轄ヲラシムヘシ

三、第一中隊長ハ約一小隊ヲ以テ稻嶺、神里、友見可地區ニ於ケル野戰重砲兵第二十三聯隊ノ陣地構築作業ニ協力セシムルト共ニ一ヶ分隊ヲ以テ森小隊ノ津嘉山大隊陣地構築作業ヲ継承セシムヘシ

四、第三中隊長ハ約一小隊ヲ以テ糠ノ嶽及經塚附近ニ於ケル野戰重砲兵第二十三聯隊ノ陣地構築作業ニ協力セシムルト共ニ所要ノ幹部以下約一ヶ分隊ヲ以テ輕迫撃砲第七乃至第十中隊ノ陣地構築作業ノ技術的援助ニ任ジ又一ヶ分隊ヲ予ニ直轄ヲラシムヘシ

五、岩村中隊長ハ宜壽次陣地構築作業ヲ豊浦小隊ヨリ継承セシム

六、野戰重砲兵第二十三聯隊並ニ輕迫撃砲諸中隊ニ對シテ協力及各作業継承ノ時期ハ十一月一日トス

七、作業ニ関シテハ被收力部隊ト現地ニ於テ密ニ連絡スヘシ

八、細部ニ関シテハ別ニ示ス

大隊長 植松新一

下達法 各隊長ヲ集メ要旨傳達後印刷交付

配布先 SAB、23SA、LM(各隊) 各隊

迫三作命第三號

臨時輕迫擊第三大隊命令

土 11月18日 陸軍

一、自三日命第三號第三項配屬工兵令隊宿

營給其食ヲ本二日々食ヲ第五中隊担任トテ

明三日々食ヲ第四中隊担任ト更ス

二、工兵隊各隊協力要領ニ屬シテハ明治節邊程

式終了後鈴木中尉ヲ指揮示セ

臨時迫擊第三大隊長 松田大尉

下達迄乙

20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

自三奉命日第由號

臨時迫擊第三大隊命令

- 一 大隊主力ハ明日ハ以降 第一隊は構築業作業
ハタル 係室及又渡喜の敷ニ務 駐セシト又
- 二 各隊ハ各作隊長、務動計畫ニ基キ 十一日迄ニシテ
務駐チ完了シテ返ルニ作事ニ着手スルコト
- 三 武器材輸送 宿營 給養ニ関シテハ、シテカシ 既ニ格案
セシ處ニテ、完シタルコト
- 四 第一隊は地務駐後、大隊本部位置ハ、係室及又大
宅ニ移テ命令多量ニ指示スルコト
- 五 係室茂宿營内、大隊本部ハ、係室ノ南ニテ、
夕入食アリトス
- 六 第四隊は本中尉ハ、隊本部ハ、係室ノ南ニテ、
既ニ既ニ終リ、セルコトニテ、部ハ、係室ノ南ニテ、

口達

憲兵隊注意事項

十一月廿一日

毛利

- 一 官物、盜難多し注意セヨシタシ
- 二 未検閱、書解多し注意セヨシタシ
- 三 地方農民、道具ヲ借リテ使用シ返納セザルモノアリ

病院、注意事項

一 入院患者、給食通報ヲ忘レザル様

一 軍司令部ハ津嘉山ニ移動ス各部ハ

現在、儘ナリ

副官部注意事項

一 叔相ヲ要ハセズ

其他ノ事項

一、砲兵司令部官八十月二十六日付陸軍中将ニ進級
セラル

(和田幸助閣下)

二、大隊本部ノ兵ノ給養通報ヲ差出スルニ付

三、診斷ハ北地区ノ軍医ニ委付スルベシ

(第31少隊)

四、此後ニ周知命令ヲ第2階地異動命令

ハ明日發スルベシ

25日 訓
降

追三作命第五號

臨時輕便擊第三大隊命令

十一月十四日 保第隊

一 第一陣地構築作業援助ノ夕ノ十一月十日以降新ニ

工兵一小隊(一ヶ分隊欠)及第二陣地構築作業援助

ノ夕ノ十一月十四日以降約一ヶ分隊夫々協力ヲ命セラル

依リテ第一陣地協力工兵隊ノ給養ハ第四隊担任

スソレ給養、轉候ハ十一日朝食ヨリ又

二 工兵隊ノ第一陣地構築要領ニ関シテハ野本中尉

第二陣地構築要領ニ関シテハ鈴木中尉ヲ指示

セシム

大隊長 松田 大尉

下達法 乙

○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○

迫一作命第六號

假編輕迫擊第一大隊命令

十月三十日 八〇〇
於 保 築 隊

- 一 部隊八明二十一日小祿陸地ニ移動セントス
- ニ 移動細部ハ保築隊ノ移動要領ニ準シ各中隊長ニ於テ計畫實施ス
- 三 余八明二十一日八〇〇小祿大隊本部ニ在リ

大隊長 松 田 大 尉

下 達 法 乙

○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○

軍命令要旨

十一月十六日

一、敵ハ其機動部隊ヲ以ツテバラオ郡島方面ニ於テ又基地航空部隊ヲ以テ支那基地ニ於テ出動準備中ナルモノニ如ク近ク南西諸島ヲ攻撃スルノ算アリ

二、軍ハ對空戰備ヲ強化シ敵航空部隊ノ急襲ヲ防正セントス

三、南西諸島全地域ハ當分間毎日〇六三〇ヨリ〇九〇〇ノ間丙號戰備ヲ令セラル

四、各部隊ハ一〇、一〇南西諸島空襲ノ戰訓ニ鑑ミ嚴ニ軍需品ノ援護分散蔽ニ注意シ自働車ハ無偽裝ノ儘暴露地ニ集合スルヲ避ケ分散蔽ニ徹底スベシ

宣

和作第一三號

戰時月報提出ノ件命令

昭和十九年十一月三日

第九七〇部隊長

大隊長宛

首題ノ件別紙様式ニ依リ毎日盡日調ヲ以テ

調制表ニ翌月二日迄ニ四部第九七〇部隊宛ニ提出

スル

宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣
宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣
宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣
宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣
宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣
宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣
宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣
宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣	宣



三三軍砲兵隊命令 披梓

十一月二十一

一 五大隊轉屬二伴ノ砲列及並ニ觀測所地域及
構築資材配當要領

區	分	繼承部隊	繼承陣地	摘	要
大山以南那霸	一木隊	阿波 峯 向陣地	五大隊ノ木材ハ一部輕	迫	一
ニ主矢ヲ指シ		澤	五大隊ノ木材ハ一部輕	迫	一
ハハ場合		(大隊觀測所ノ除)	迫	一	一

迫一作命軍第八號

假編輕邊擊第一大隊命令

十一月二十四日

一、獨立中迫第五第六大隊轉屬三律七一部陣地

一、配當于左、如左變更セントス

左記

一、第一案陣地中迫第五大隊

第一中隊陣地ヲ第三中隊へ

第三中隊陣地ヲ(觀測所ヲ除ク)第四中隊へ

第三中隊陣地ヲ第五中隊へ

第二中隊觀測所ヲ(大隊觀測所)ニ夫々繼承スハシ

第六中隊、第三中隊(輕邊小池隊)陣地ヲ繼承スハシ

從來、第四、五、六中隊陣地又本部觀測所ハ予備陣

地トス、十二月十二日以降、該陣地附近ヲ疎開位

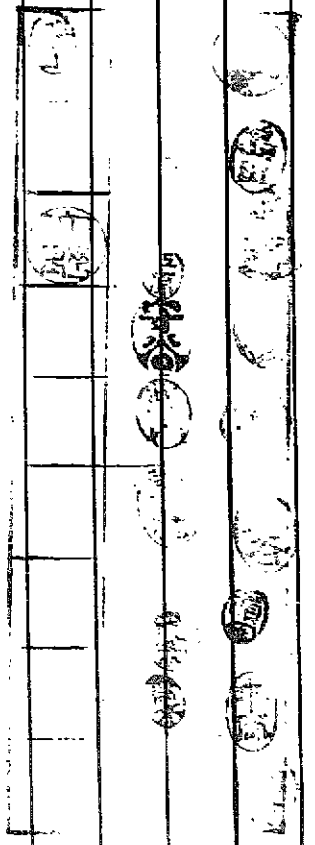
置トス

依フテ各隊ハ夫々留守隊ノ人員ヲ以ツテ十二月十日迄
 二陣地附近ニ宿營ヲ準備シ三角兵舎ノ材料ヲ
 蒐集集メスベシ

二第ニ棄テ予備陣地ヲ平高峯西方地区ニ配當
 セラシメカ陣地構築ハ別ニ示ス

大隊長 松田大尉

下達法乙



迫一作命第九號

假編輕迫撃第一大隊命令

十一月二十五日 小隊

十一月十四日迫三作命甲第五號ヲ削除ス

大隊長 松田大尉

下達法乙

